

令和6年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野
3級 ロジスティクス管理

試験問題

(12 ページ)

1. 試験時間 110 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和6年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートの詳しい書き方は最終ページに記載しています。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。
- (9) 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机の上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題1 ロジスティクスという用語の発生と意味に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ロジスティクスと物流は、同じ意味である。
- イ. ロジスティクスという用語は、軍事用語の「兵站」という意味をビジネスに適用したものである。
- ウ. ロジスティクスの業務範囲は、環境問題への関心の高まりとともに、輸送と倉庫業務に関連する静脈の流れにも広がってきた。
- エ. 米国SCMプロフェッショナル協議会のロジスティクス管理の定義によると、ロジスティクス管理とはサプライチェーン・マネジメントの一部である。

問題2 ロジスティクス管理に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ロジスティクス管理の目的は、モノを顧客や市場に円滑に供給することである。
- イ. ロジスティクス管理の目的は、5つの要件（5R）を満たすことにより達成される。
- ウ. 5Rとは、適切なモノ、適切な場所、適切な時間、適切な条件、適切な輸送機関をいう。
- エ. 5Rを満たすには、購買、製造、物流、マーケティング及び営業、更に保守等のサービスの全ての活動が連携することが必要である。

問題3 物流管理の階層を、対象期間別に、中長期管理、年次管理、オペレーション管理（日常管理）の3つに分けた場合、年次管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流システム全体の再構築についての具体的施策とマイルストーンを策定する。
- イ. 昨年度実績で月別予算を策定する。
- ウ. 物流現場における業務をチェックし、その改善を行う。
- エ. 現場業務を月単位に計画し、進捗状況に問題がある場合は対策をとる。

問題4 物流管理サイクルに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 管理とは、計画し、それを実施し、実施状況を分析評価して統制することである。
- イ. 管理技法として、Plan-Do-Check-Actionのサイクルがある。
- ウ. Planでは、具体的な目標や計画を設定する。
- エ. Checkでは、改善策を実行する。

問題 5 営業部門と物流部門との関係に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 営業部門が計画する特売やキャンペーンなどによる販売量の予測は過大になりがちなので、物流部門で独自に予測する必要がある。
- イ. 納品時の物流サービスの変更は、営業部門と物流部門が協議して顧客との交渉に努める必要がある。
- ウ. 正確かつ迅速な受注処理のためには、それぞれ営業担当者が自ら受注処理を行う必要がある。
- エ. 品薄時の顧客毎の受注量の決定は、中立的な立場である物流部門が行う必要がある。

問題 6 製造業における物流部門と関連部門との関わりに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 納品先での待ち時間が長い場合、待ち時間の短縮を担当営業部門と共に納品先に働きかけることが有効なときがある。
- イ. 納品先の発注ロットが小さいために積載効率が低下している場合、発注ロットの見直しを情報システム部門と共に納品先へ働きかけることが有効なときがある。
- ウ. 外装梱包の段積み制限により積載効率が低下している場合、製造部門と共に、段ボール強度を向上させることが有効となるとときがある。
- エ. 容積勝ちの製品については、製品開発部門と共に、パレット当たりの積載ケース数を増やすような個装・外装を考慮することにより、トラック 1 台当たりの積載効率を上げることが可能となる場合がある。

問題 7 輸配送活動で実施されている各種の人手不足対策や従業員確保対策に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 退職自衛官には大型免許を有する者も多いことから、トラック運送業の多くが加盟する全国規模の業界団体では、退職自衛官の求職の申し込みを受け付け、運送会社への再就職を斡旋している。
- イ. 大型車等を用いた輸送では、特にドライバー確保が困難であることから、定年に達して自社を退職したドライバーを、職務内容の変更を考慮して給与を一定程度削減した上、有期の雇用契約を結んで業務に従事させるケースが見られる。
- ウ. 通販業者のラストマイル配送では、自動車運転者の労働時間等の改善のための基準である改善基準告示が適用されない自社雇用のドライバーを活用した自家配送が拡大している。
- エ. 飲食店が個人宅等に対して行うフードデリバリーサービスでは、自転車等を活用して空き時間で配送を行う個人事業者とフードデリバリーサービス業者が雇用契約を結び、労働力の有効活用を図っているケースが多い。

問題8 「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン（2023年6月）」において発荷主事業者が取り組むべき内容に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造り等を行い、荷役時間を短縮する。
- イ. トラック運転者が輸配送先まで適切に休憩を取りつつ運行することが可能なスケジュールが組めるよう出荷予定時刻を設定する。
- ウ. 運送料金の適正化に向けて運送の対価である「運賃」に運送以外の役務等の対価である「料金」を含めて支払う。
- エ. 荷待ち時間を削減すると共に運行効率を向上させるため、日内波動や曜日波動、月波動を平準化する。

問題9 法令やコンプライアンスに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 企業のコンプライアンスとは、法令や企業倫理の遵守という意味であるが、これ以外に社会的責任（CSR）も含まれる。
- イ. コンプライアンスの対象は社員のみで、派遣社員、パート、アルバイトは含まれない。
- ウ. 委託先事業者のコンプライアンスに、委託元は関与する必要はない。
- エ. 許可とは、行政庁等に備える公簿に記載することである。

問題10 下請法（下請代金支払遅延等防止法）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 資本金が3億円を超える親事業者から受託した包装資材の製造を、資本金1億円の会社へ委託する場合、下請取引に該当する。
- イ. 親事業者の4つの義務とは、注文書面の交付義務、支払期日を定める義務（受領してから60日以内）、書類の作成・保存義務（2年間）、遅延利息の支払い義務（年14.6%）である。
- ウ. 毎月固定の運送定期便に関して運行時間・立ち寄り先等の変更点はないが、運送会社へ毎月、運送依頼書は発行している。
- エ. 原材料の値上げで下請事業者から見積価格見直しの要望があったが、親事業者は協議することなく価格を据え置いた。

問題11 物流事業者が荷主に提供する物流サービスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 荷主が要望する納品時間指定への対応力
- イ. 店舗での棚割りへの対応力
- ウ. デジタル技術を活用した物流効率化の対応力
- エ. 物流センターでの流通加工への対応力

問題12 物流サービス管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．物流サービス管理に当たっては、競合他社が提供する物流サービスレベルを確認する必要は無い。
- イ．物流サービス水準の実績が当初取り決めた水準以上である場合は、物流サービス管理は実施しなくてもよい。
- ウ．物流サービス水準は、顧客との取引条件として明確化しておくことが望ましいが、顧客担当部門からの要請でサービス水準が頻繁に変わる場合には、取引条件の明確化にこだわる必要はない。
- エ．物流サービスの実態が情報システム上のデータだけでは把握できない場合、物流現場の各担当者からサービス内容を聞き取る必要がある。

問題13 メーカーA社において、品質改善のために調査を実施したところ問題点が見つかったので、改善を行うことにした。品質改善に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．入荷・格納業務で、入荷時の検品においてダメージ確認の見落としが多かったので、格納時にもダメージ確認を行い、検品体制を強化した。
- イ．商品の移動時に落下、破損等の事故が多かったので、口頭で作業者に注意喚起を行った。
- ウ．出庫作業中に誤った商品又は数量でピッキングしてしまうミスが多かったので、自動倉庫システムを導入した。
- エ．出荷業務時に一部商品を間違ったトラックに引き渡してしまう誤出荷の発生が多かったので、運送会社への商品引渡し方法については、運送会社単位の一括荷渡しにした。

問題14 特別積合せ貨物運送に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．輸送ネットワークは、方面別仕分けのためのターミナルを中心に構築されている。
- イ．東京－大阪間の輸送では、翌日到着が一般的である。
- ウ．ターミナルとターミナルを結ぶ輸送は、一般に「幹線輸送」と呼ばれている。
- エ．規制緩和によって、近年は新規参入事業者が大幅に増加している。

問題15 倉庫の建屋に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．頻繁な入出荷や荷揃えが必要な場合、建屋の形状は、間口に対して奥行きが長い方が使い勝手が良く、望ましい。
- イ．ほこりや寒暖の変化による商品ダメージが懸念される場合、建屋の階層は、多層階の1階が望ましい。
- ウ．飲料等の重量品を扱う場合、接車バースは、低床式が望ましい。
- エ．流通加工を行う場合、天井高（梁下）は、5.5m以上が望ましい。

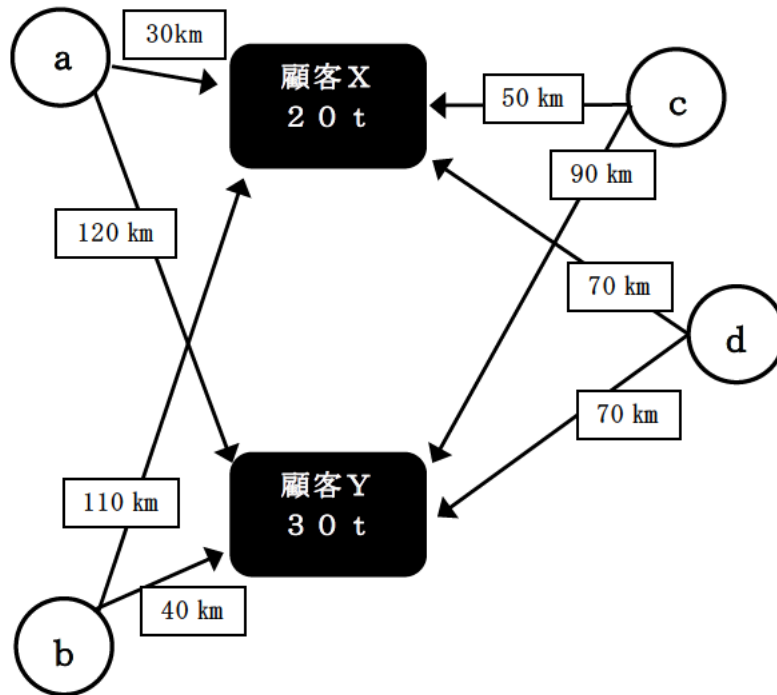
問題16 メーカーの物流システムに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．海外で生産し、日本国内で販売するメーカーでは、生産した製品を生産地近隣の物流拠点で保管し、注文に応じてその物流拠点から出荷するシステムが一般的である。
- イ．メーカーの物流部門は、調達・社内物流を担当するが、販売・返品・回収物流は担当しないことが多い。
- ウ．メーカーの物流システムの大半は、物流サービスの水準維持よりも在庫の最小化を主眼に構築される。
- エ．受注から納品までの許容リードタイムに余裕がある場合は、物流拠点を集約することも可能である。

問題17 データ分析に基づく物流効率化への取組に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．倉庫の在庫データを分析し、在庫保有日数が多い商品を抽出し、出荷仮置場の近くに保管することとした。
- イ．倉庫内作業の生産性分析を行い、生産性が低い作業を抽出し、その原因究明と改善に努めた。
- ウ．OD表による輸送分析を行い、最寄り拠点から配送されていない納品先を抽出し、その原因究明と改善に努めた。
- エ．運転日報の分析を行い、待機時間の多い納品先を抽出し、その改善を納品先に依頼した。

問題18 配送拠点の設置候補地として、a、b、c及びdの4地点がある。顧客Xには20 t、顧客Yには30 tの荷物の配送が必要であり、各設置候補地から各顧客までの距離が下図のようになっているとする。この場合、重心法に基づいた最も配送コストが低くなる配送拠点候補は、次のうちどれか。



- ア. a 地点
- イ. b 地点
- ウ. c 地点
- エ. d 地点

問題19 物流子会社に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流子会社とは、物流業務の効率化・高度化、物流コストの明確化などを目的として荷主が設立した会社である。
- イ. 物流子会社の中には、親会社以外の外販比率を高め、株式上場を遂げている会社もある。
- ウ. 荷主企業が物流子会社を設ける動機の一つとして、出向者等の受け入れ先確保が挙げられる。
- エ. 物流子会社の種類としては、自社で配送業務を行う会社が多い。

問題20 各種の輸送効率化策等に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．パレット化は、手積み手卸しに比べて荷役時間の削減につながる。
- イ．トラック輸送における帰り便の活用は、車両の回転率を向上させる。
- ウ．中継輸送のネットワーク整備は、泊付き運行に比べてドライバーの拘束時間短縮につながる。
- エ．他荷主との荷物の混載は、積載率を向上させる。

問題21 国際輸送の手段に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．航空輸送は、高付加価値品の他、鮮度が要求される生鮮食品やアパレル等で使用されている。
- イ．スルーB／L（複合運送証券）を発行して、海上輸送や航空輸送に加え、トラックや鉄道などの異なる輸送手段を接続して輸送することを、国際複合一貫輸送という。
- ウ．金額ベースで日本の輸出貨物を最も多く運んでいるのは海上輸送である。
- エ．航空運送状は、記載された貨物の引き渡し請求権を化体した有価証券である。

問題22 在庫管理の実務に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．入庫した商品にバーコードが貼付されていない場合は、入庫リストにバーコードを印字し、それをスキャンして検品する方法がある。
- イ．大ロットの平置きパレット在庫のロケーションは「ところ番地」まで詳細に決めておく必要がある。
- ウ．ピッキングリストには、ピッキング動線の長さが最短となる順番で商品を表示する。
- エ．シングルピッキング時にハンディターミナルなどでバーコードをスキャンした場合は、後工程での出荷検品を省くことも可能となる。

問題23 在庫管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．在庫が減少すればキャッシュフローが増えるので、在庫は少なければ少ないほどよい。
- イ．管理会計上では、実在庫を帳簿上の在庫に一致させることが求められる。
- ウ．在庫管理の対象は、製品在庫である。
- エ．在庫管理を適正に行うために、需要予測は欠かせない。

問題24 安全在庫と標準偏差に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．需要予測の精度が上がれば、必然的に在庫量の標準偏差は小さくなる。
- イ．安全在庫とは、補充発注を行ってから入庫するまでの平均在庫量に対応する在庫である。
- ウ．在庫量のバラツキが正規分布に従う場合、中央値から離れるほどその在庫量が発現する確率が高くなる。
- エ．安全在庫を決定する際の安全係数を大きくするほど、サービス率は高くなる。

問題25 在庫分析に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．在庫量によるパレート分析（ABC分析）を行う場合、累計在庫割合を算出して分析するのが望ましい。
- イ．ロングテール商品（ごくまれにしか出庫しない商品）は、廃棄することが望ましい。
- ウ．新商品の保有在庫量は、出庫実績がないため、類似の商品の出庫実績等を参考にする。
- エ．商品の出庫量と出庫頻度の両方を算出すれば、より精緻な在庫分析が可能となる。

問題26 在庫分析に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．散布図を作成することで、商品の入庫頻度と出庫頻度など複数の指標を同時に分析することができる。
- イ．先入れ先出しができていれば、在庫鮮度分析の在庫滞留期間と在庫回転率は一致する。
- ウ．流動数曲線では、「前残＋入庫累積数」と「出庫累積数」の差が在庫となる。
- エ．在庫保有月数が2か月の商品の年間在庫回転率は、6回となる。

問題27 棚卸に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．動きのある品目数が少ない場合は、入出庫があった品目だけ日々棚卸する方法が効率的である。
- イ．一斉棚卸は、期末決算時などに行うのが一般的である。
- ウ．棚卸により実在庫と帳簿上の在庫を一致させることを「商物一致」という。
- エ．循環棚卸では、在庫品目をいくつか分割し、週単位・月単位で棚卸を行う。

問題28 荷主の物流コストに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．物流コストを算出する最も簡単な方法は、経理・財務部門の了承を得て、財務諸表の科目に物流費の費目を追加することである。
- イ．物流コストの算定マニュアルとしては、通商産業省（現：経済産業省）が作成した『物流コスト算定活用マニュアル』の他、これを中小企業向けに簡素化した『わかりやすい物流コスト算定マニュアル』（中小企業庁）などがある。
- ウ．製造業の対売上高物流コスト比率を比較すると、精密機器は、食品に比べて数倍高い。
- エ．欧米では日本よりも物流コストの算定が普及しているため、欧米に本社があるグローバル企業との物流コスト比較（ベンチマーク）は容易である。

問題29 以下に示す＜事例＞を踏まえた場合、荷主のトラック会社への対応に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

製造業X社は自社製品の販売輸送を、A～Dの4社のいずれも地場・中小トラック会社に貸切運賃にて委託している。X社では来期予算の策定に際し、来期運賃の見通しについて各社に個別に問い合わせたところ、それぞれ以下のような返答を得た。

- ・A社は、自社の原価計算のデータを示し、労務費上昇及び長時間運行に起因する残業代の支払い増加などがあり、値上げが不可避であることを説明した上で、次期分として5%値上げした見積を提示してきた。
- ・B社もA社と同様に原価計算のデータを提示し、現行の運賃では、赤字であるとの説明であった。なお、原価内訳を見ると、人件費などの上昇が見られる一方、保険料や車両修理代など、A社の原価より単価が数10%程度高い項目があった。
- ・C社からは値上げ等の要望は特になかった。むしろ、他社の受託しているルートも自社で引き受けたい旨の要望があり「他社より1～2割安く引き受けても良い」との発言もあった。但し、その金額で運行できる具体的な根拠は示されなかった。
- ・D社は、運賃そのものは現行どおりで良いとの回答であったものの、頻繁に待機が発生する納品先については、待機をなくすか、標準的な運賃に相当する待機料金を負担するか、のいずれかを対応するよう、強く要望された。

- ア．5%の値上げは負担が大きいことから、A社との値上げ交渉は打ち切る旨をA社に連絡した。
- イ．B社の原価がA社の原価と差異を生じている項目について、A社の見積を参考に原価を再計算し、適当と思われる次期の運賃単価をB社に通知した。
- ウ．C社の要望を踏まえ、これまでA社に委託していた業務をC社に任せることとし、A社の見積書の金額から1割以上値引きした見積書を提出するようC社に通知した。
- エ．D社に対し、納品先と協議すると共に、標準的な運賃に相当する待機料金を支払う旨を通知した。

問題30 トラックの運賃料金に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．トラックの運賃料金は、設定・変更後に国に届出を行う必要があるが、実際に適用される運賃料金は荷主との個別契約によるため、届出とは異なる運賃料金が適用される場合がある。
- イ．宅配便運賃は貸切運賃の一種であり、質量及び地帯別に基づき運賃が設定される。
- ウ．距離制の貸切運賃の金額には、当該距離帯を輸送するために要する全ての費用を含んでおり、例えば荷主の指示により高速道路を利用した場合の料金も含まれる。
- エ．燃料サーチャージ制とは、トラック運賃から燃料費を除外し、燃料費に相当する金額を別途荷主に請求する仕組みである。

問題31 製造業における物流コストの算定に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．自家倉庫の地主に支払った賃借料を、保管費として計上した。
- イ．日本郵便に支払った文書の郵送代金を、輸送費として計上した。
- ウ．商業包装に関する包装容器メーカーへの支払い費用を、包装費として計上した。
- エ．レンタルパレットの利用料金を、荷役費として計上した。

問題32 ある小売業者がコスト・在庫削減策を実施したところ、在庫保有コストに関わる以下のようなトレードオフ等が生じた。トレードオフの記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．自社の物流センターから店舗までの運賃を削減するため、自社センターの数を増設したところ、店舗納入のための輸送コストは減少したが、在庫保有コストが増大した。
- イ．売れ行きの悪い商品について、店頭在庫の基準数量を減らしたところ、在庫保有コストは減少したが売上機会損失が増大した。
- ウ．自社センターの在庫アイテム数を絞り込み、店舗からの発注を受けた翌日に卸に発注し、センターに到着した商品をそのまま仕分けて店舗納入することとしたため、納品リードタイムが1日伸びた。その結果、在庫保有コストは減少したが、売上機会損失が増大した。
- エ．商品廃棄等のロスを減らすために、消費期限切れ間近の商品を、積極的に値下げ販売したところ、売上機会損失が減少したが、在庫保有コストは増加した。

問題33 E O Sを利用したオーダーエントリーに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．受注入力情報の正当性チェックは、データ入力時ではなく、出荷情報処理時に行う。
- イ．通信販売事業者が個人から受注する場合には、与信を考慮した受注処理は行わない。
- ウ．割当枠限度を超えて商品を受注した場合には、営業部門と協議を行う。
- エ．引当不能な注文は受注残として登録しないで、できるだけ早くオーダーをキャンセルすることが必要である。

問題34 発注処理に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ハンディターミナルなどのモバイル端末を用いて発注する方法は、C A Oと呼ばれている。
- イ．発注処理システムでは、商品名や商品コードは、発注側で使っているものを使用しなければならない。
- ウ．発注量は、過去の販売量、現在の在庫量等を参考にして判断するのが一般的であるが、販売当日の天候、気温等も考慮する場合がある。
- エ．発注データのオンライン伝送では、現在、V A N（付加価値通信網）は使われなくなった。

問題35 S C M（Shipping Carton Marking）ラベルの運用に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．S C Mラベルは商品外装へ貼付され、一般に、E D I（電子データ交換）によるA S N（事前出荷案内）と照合して使用される。
- イ．S C Mラベルは、物流センターの在庫情報の通知として使用される。
- ウ．外装に貼付されたS C Mラベルを自動的に読み取ることにより、入庫確定入力は効率化される。
- エ．量販店の物流センターでは、S C Mラベルを店舗別の仕分けに利用している。

問題36 特別積合せ貨物運送における貨物（荷物）追跡システムに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．貨物追跡システムにおける送り状番号と発荷主が発行した納品書の伝票番号は同じである。
- イ．貨物追跡システムは送り状番号と行き先情報との関連付けができないため、貨物がどこを通過したかはわかるが、通過地点とその順序が適切であるのかの判断はできない。
- ウ．貨物追跡システムに、R F I D（Radio Frequency Identification）を用いると、輸送中の貨物の経路のトレースが可能になる。
- エ．貨物追跡システムで到着遅れやミスを判断し、関係するターミナルやデポに指示を送る事業者もある。

問題37 ロジスティクス情報システムに関連する略字が示す語句として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. I o T → Intelligence of Things
- イ. G P S → Global Positioning System
- ウ. D X → Digital Transformation
- エ. E D I → Electronic Data Interchange

問題38 基幹システムとロジスティクス情報システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 基幹システムとは、企業が経営を続けていく上で重要な情報を管理・処理するシステムである。
- イ. 販売管理システムは、ロジスティクス情報システムに分類される。
- ウ. 社内外のコミュニケーションを目的とした電子メールやウェブサイト（ホームページ）は、一般的に基幹システムではない。
- エ. 需要予測、生産・購買計画は、ロジスティクス情報システム体系のうち、計画系に分類される。

問題39 ロジスティクス情報システムの設計における情報システム部門とロジスティクス部門の役割に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 新システムの企画段階において、ロジスティクス部門の責任者は、費用対効果について検証する必要がある。
- イ. I C Tは急速に高度化しているため、それを活用した新システムの要件定義は、情報システム部門に任せるのが適切である。
- ウ. システム開発は、情報システム部門が主として行う。
- エ. 新情報システムの仕様に基づいた業務マニュアル作成や作業者教育は、ロジスティクス部門が主として行う必要がある。

問題40 1次元、2次元シンボルに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. I T Fとは Interleaved 2 of 5 のことで、国際標準ではG T I N-14と呼ぶ。
- イ. 2次元シンボルには、Q Rコード、PDF417、DataMatrixやMaxiCodeなど、複数の仕様がある。
- ウ. G T I N-13には、事業者コードとして6桁が割り当てられている。
- エ. S C Mラベルに印字されたバーコードを読み取ることによって、検品作業が効率化される。